

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎県立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキケンリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部全学科
	担当教職員名・役職	古河 幹夫:副学長
基本情報	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	103
	受入企業等数	57
	受入企業等名	(株)長崎新聞社、AIGジャパン・ホールディングス、公益財団法人長崎ミュージアム振興財団、長崎県、長崎市、一般財団法人大村市文化・スポーツ振興財団、諫早市、(株)丸協食産、ダイハツ長崎販売(株)、(株)ホンダ四輪販売長崎、(株)東横イン、(株)共立自動車学校、社会医療法人財団白十字会、ながさき西海農業協同組合、宮崎県、佐世保市、佐々町、(シンガポール)伊勢丹、西海陶器、JTB、富士ゼロックス、(ベトナム)JETRO、TOTO、ダナン市人民委員会外務局、JETRO、(タイ)NEC、日本通運 他
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
要素①	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生が自らの専攻や将来のキャリア、関心等に関連した就業体験を通じ、業務に必要な知識や技能、技術を学修し、企業・団体への理解を深め、職種に対する適性を明らかにするとともに、職業意識の向上を図る科目。有給、海外、大企業、中小企業など、さまざまな形態でのインターンシップを企業や自治体等で行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位もしくは2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全学教育科目として単位認定しており、10日以上インターンシップと事前・事後指導を入れて2単位を付与している。(旧カリキュラムでは、事前・事後指導とともに5日毎に1単位(上限4単位)を付与している。)いずれも2年次以上の科目として配置している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	

	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.«3.その他»で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学生のインターンシップ期間中に、本学教職員が必要に応じて巡回を行い、受入機関の意見聴取や学生の状況確認を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前指導では、学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守などの指導を行うとともに、受入機関の事業内容等に関する事前の調査やインターンシップで行う目標の策定等を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後指導では、学生の日報や報告書をもとに報告会を行うことで、学生へのフィードバックを行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生のインターンシップ期間中に、本学教職員が必要に応じて巡回を行い、受入機関の意見聴取や学生の状況確認を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.«4.その他»で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの実施前後でレポート・報告書の作成を行い、意識の変容を確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間:5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.«4.その他»の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間は事前・事後指導とは別に実働5日以上としており、1~4週間(実働5~20日)の中でインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.«7.その他»で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学が設定した目標を受入機関と共有することで、受入機関からも目標達成に向けた指導を行って頂いている。また、インターンシップ終了後には受入機関からの評価も実施頂いており、学生にフィードバックしている。なお、事前・事後指導の協議を通して、次年度に向けての課題の改善も行っている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://lc.sun.ac.jp/syllabus2/syllabusReferenceContentsInit.do?jsessionid=Yh4R2CBllld139vrQ-BNcYFLmGOAvjGsNtsZGfIQY?subjectId=047600033235&formatCode=1&rowIndex=25&jikanwariSchoolYear=2018&pushScroll=syllabusList&keepScrollX=0&keepScrollY=1000
問い合わせ先	大学等名	長崎県立大学
	担当部署名	学生支援課教務グループ
	担当者役職名	教務グループリーダー
	担当者氏名	今井 佳奈子
	電話番号	0956-47-5706
	メールアドレス	kyomu@sun.ac.jp